品番

ACS-A型 ❶

家庭用

コーヒーメーカー

ドリップタイプ

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

日本国内 100V 専用

交流 100V 以外の電源では使用できません。

ご意見をお寄せください。
http://www.tiger.jp/

香り立つ、本格コーヒーをご家庭でお楽しみください

家族や友達と過ごす楽しい時間、
のんびりくつろぐときに…
ちょっぴり贅沢な
コーヒー生活はじめましょう。

ステンレスのコーヒーサーバーで、
いれたてのおいしさをキープ

ホットコーヒー

真空2重構造のステンレスのコーヒーサーバーで保温するので、コーヒーの煮つまりを防ぎ、風味・香りを逃しません。

コーヒーサーバーに、
氷を入れるだけで手軽に楽しめる

アイスコーヒー

コーヒーサーバーに氷を入れて、アイスコーヒーとしてもどうぞ。
コーヒーサーバーが冷たさを保ちます。

コーヒーをおいしく楽しむ　ためのポイント

豆や粉は必要な分だけ買う

1週間から10日程度で使いきる量を買うようにしましょう。また、飲むたびに必要な分だけミルで挽いてドリップするとよいでしょう。

豆や粉を保存するときは密封して冷蔵庫に

高温多湿に弱く香りがとびやすいので、密封できる容器に入れ、冷蔵庫など低温のところで保存しましょう。

なるべく早めに飲みましょう

冷めたり、風味がそこなわれてしまうので、早めに飲みましょう。

代表的なコーヒー豆の種類と特長

中味
- ブルーマウンテン
- ブラジル
- サルバドル

酸味
- キリマンジャロ
- モカ
- コロンビア
- ガテマラ
- ハワイコナ

苦味
- マンデリン
- ロブスタ

もくじ

この取扱説明書では、コーヒー豆を挽いた後のものをコーヒー粉として表記しています。

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

◆ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

◆本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

表示	内容
⚠警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定される内容を示します。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定される内容を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

⃠記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

⚠警告

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。

(サーバーふたは、お手入れ時に分解できます。)

火災・感電・けがの原因。

交流100V以外では使用しない。(日本国内100V専用)

火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない。

(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど)

火災・感電の原因。

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。

火災の原因。

差込プラグは根元まで確実に差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因。

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。

感電やけがをするおそれ。

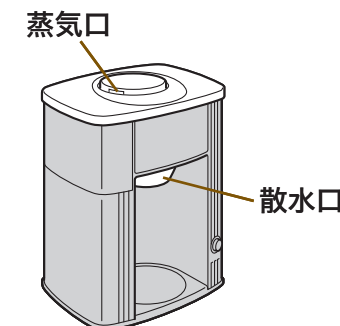
コーヒーサーバーなしで使わない。

やけどや故障のおそれ。

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。

やけど・感電・けがをするおそれ。

使用中や使用後しばらくは散水口・本体ふた・蒸気口・フィルターなどの高温部に触ったり、顔などを近づけない。

やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないように注意する。

本体は、水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電のおそれ。

安全上のご注意

⚠警告

**異常・故障時には、
直ちに使用を中止する。**

そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。

〈異常・故障例〉

- ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- 水タンクや本体から水もれする。
- その他の異常や故障がある。

すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。

⚠注意

使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。

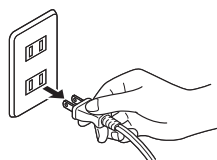
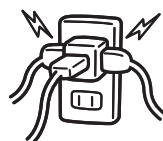
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず差込プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火するおそれ。

タコ足配線はしない。

火災のおそれ。

禁 止

不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。

火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。

壁や家具の近くでは使わない。

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

倒したり落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。

故障や、本体ふた・コーヒーサーバーなどが破損してけがをするおそれ。

専用のコーヒーサーバー以外は使わない。

お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。
また、テーブルや敷物を汚す原因。

抽出中にコーヒーサーバーをはずしたり、レバーを触らない。

やけどや、テーブル・敷物を汚す原因。

コーヒーサーバーをのせたまま本体を動かさない。

やけどやけがの原因。

コーヒーサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで使わない。

破損して、
やけどやけがの原因。

コーヒーサーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない。

破損して、けがの原因。

水タンクに水が入っていない状態でのカラだきはしない。

故障や火災の原因。

続けて使用するときは、本体が冷めるまで（約10分）待つ。

すぐに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。

抽出中に本体ふたを開けない。

やけどや故障の原因。
（通電がOFFになる。）

本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。

ショート・感電のおそれ。

お手入れは冷えてから行う。

高温部にふれると、やけどのおそれ。

末永くご使用いただくためのご注意

●火気の近くでは使わない。

変形・故障の原因。

●業務用として使わない。

故障の原因。

●水タンクに水以外のものを入れない。

故障の原因。

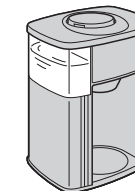
●水タンクに水を入れてセットした後は、水タンクをはずさない。

本体内にたまった水が逆流して、水もれや故障の原因。

●ペーパーフィルター以外のフィルターを使わない。

抽出がうまくいかない、故障の原因。

●水タンクに水を入れたまま放置しない。

故障や変色・におい・腐敗の原因。

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。

本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、また、付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因。

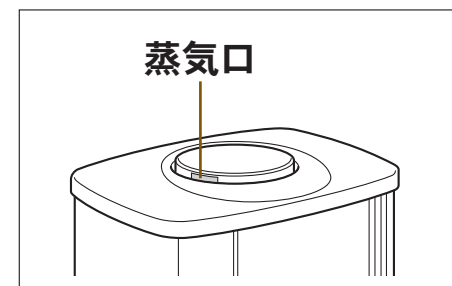
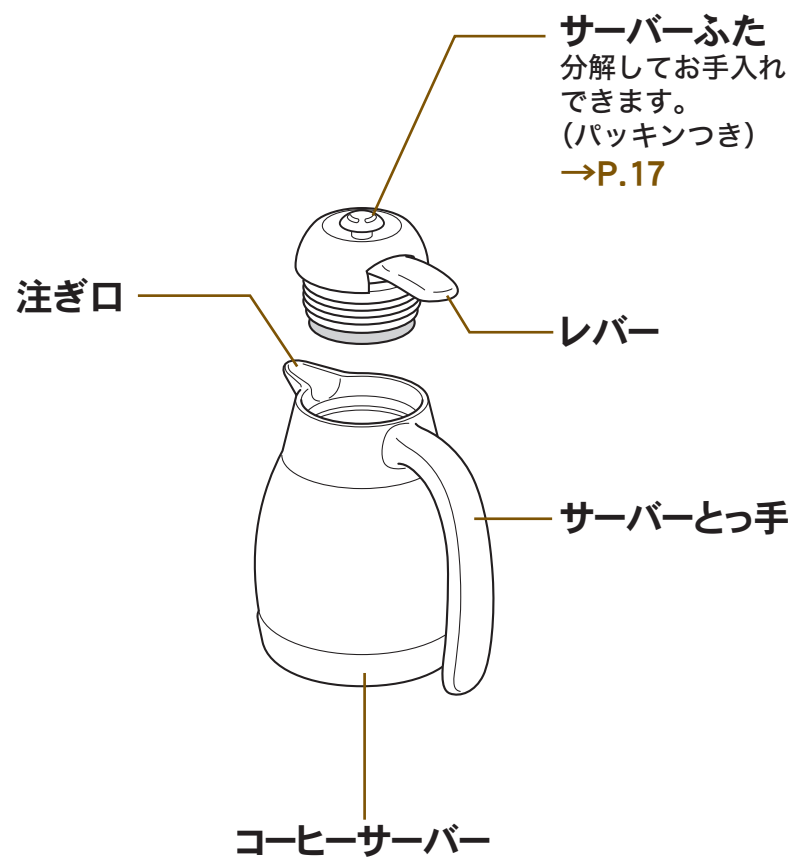
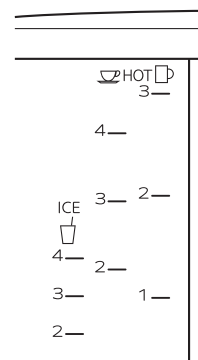
●コーヒーサーバーをななめに傾けたり、レバーを押したまま、持ち運びしない。

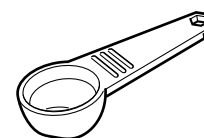
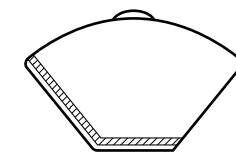
内容物がもれて、やけどのおそれ。

●コーヒーサーバー本体を落とさない。

保温効果が下がる原因。

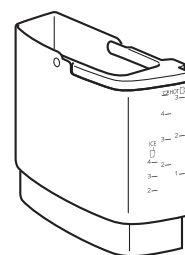
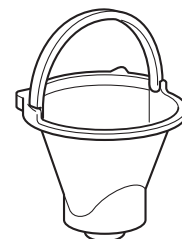
各部のなまえと付属品

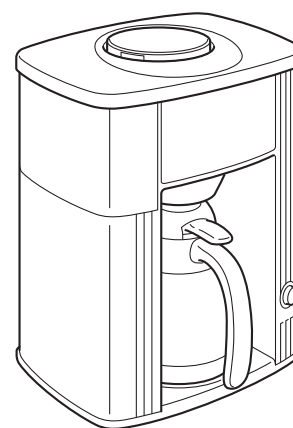
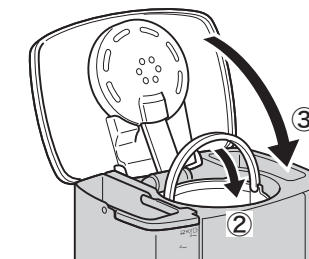
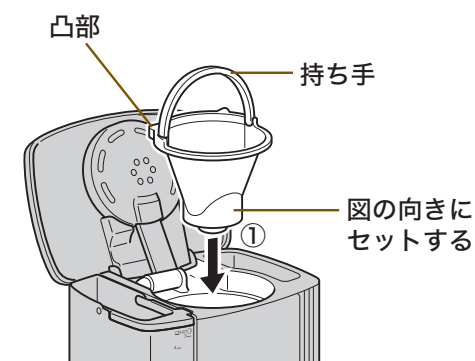
箱をあけたら、
まず確認しましょう！

付属品

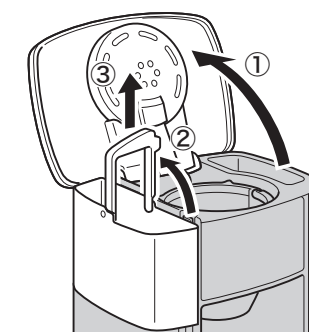
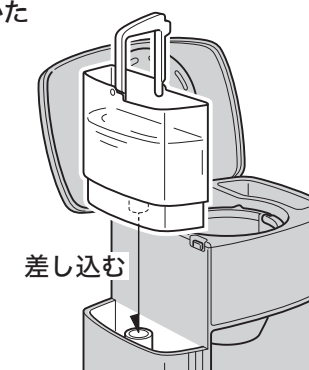
計量スプーン…1個
すりきり1杯 約7g

ペーパーフィルター…5枚
市販のものもつかえます。
（サイズ1×2または102）

はじめて使うとき しばらく使わなかったとき

お手入れして、ドリップで本体内を洗浄。
コーヒーメーカーをきれいにするのが、
おいしいコーヒーづくりの第一歩！

サーバーふたをはずす。

フィルター・水タンク・サーバーふたは、水洗いする。
コーヒーサーバー内側は、水ですすぐ。 →P.16

本体内を洗浄するために、1～2回ドリップする。
→P.12～15

水は、水タンクのカップの目盛「4」まで入れます。
（コーヒー粉やペーパーフィルターは、セットしない。ドリップ後のお湯はすてる。）

フィルターのつけかた

水タンクのはずしかた・つけかた

◆はずしかた

◆つけかた

ご注意

◆水タンク以外に水を入れない。
◆ペーパーフィルターをポケットに入れるときは、ビニール袋などに入れて保管する。
◆計量スプーンをポケットに入れるときは、コーヒー粉などの汚れを取り除いてから入れる。

ホットコーヒーをいれる アイスコーヒーをつくる

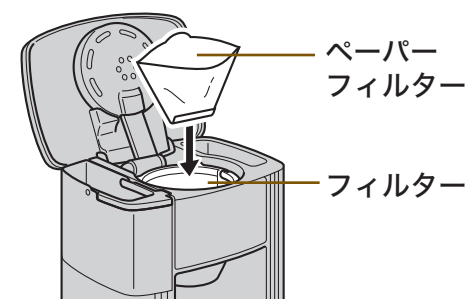
―ドリップ

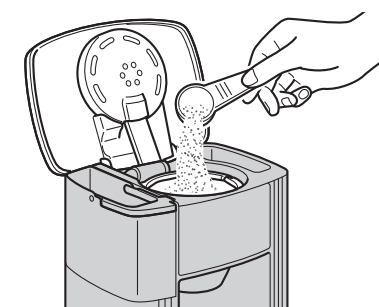
ドリップが終わったら、自動的にスイッチＯＦＦ！
コーヒーサーバーが煮つまりを防いで、
おいしさをキープしてくれるのね。

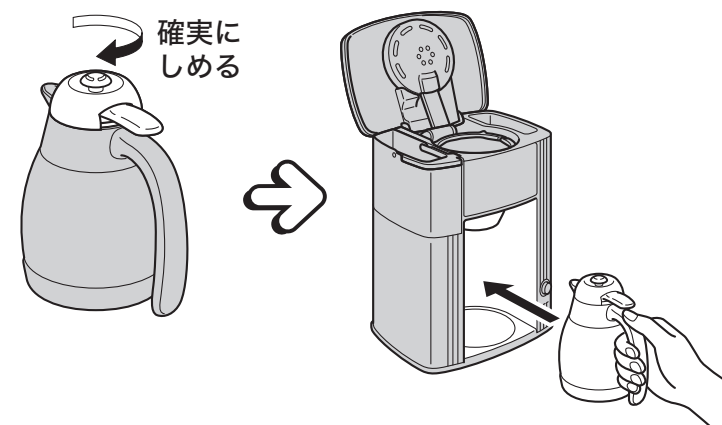
コーヒーサーバーに熱湯を入れ、1 ～ 2分温める。（ホットコーヒーのときのみ）

保温効果を高めるためです。
温まったら、お湯をすててください。

フィルターを本体につける。→P.11

ペーパーフィルターをフィルターにセットする。

付属の計量スプーンで、コーヒー粉をペーパーフィルターに入れて上面をならす。

【アイスコーヒーをつくるとき】
アイス用コーヒー粉を使います。

5

コーヒーサーバーを本体に確実に正しくセットする。

ペーパーフィルターの折りかた

底と横のミシン目を、約1cm折り曲げます。

コーヒー粉を入れる目安

◆コーヒー粉はお好みにより加減してください。
◆カップ数より少ない量はつくらないでください。

ホットコーヒー

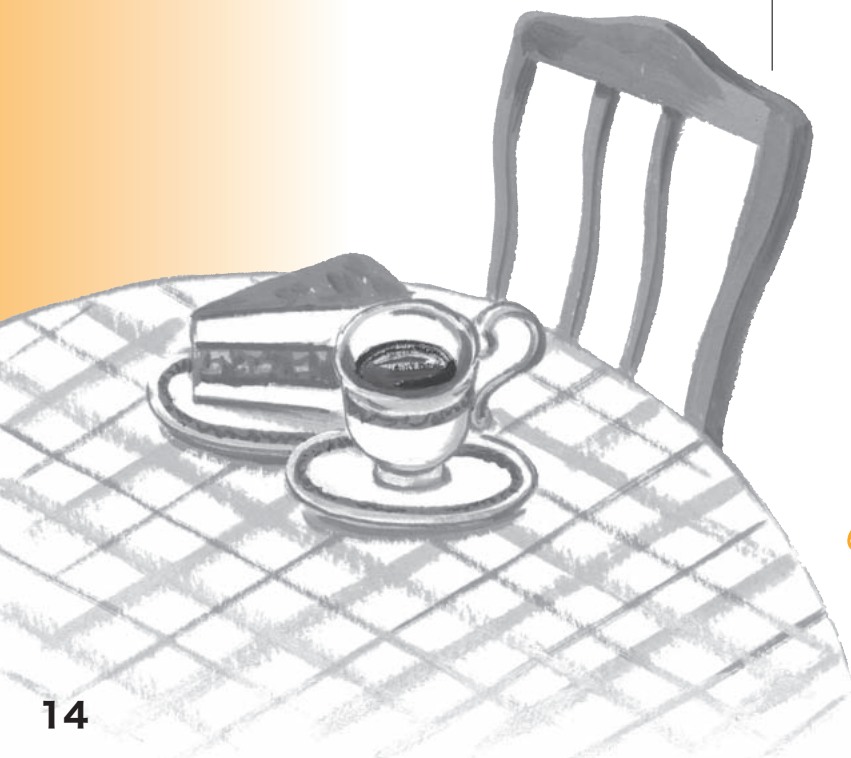
カップ数	コーヒー粉（計量スプーンすり切り）	
	マグカップ 約180mL	デミタスカップ 約120mL
1カップ	1.5杯	−
2カップ	3杯	2杯
3カップ	4.5杯	3杯
4カップ	−	4杯

アイスコーヒー

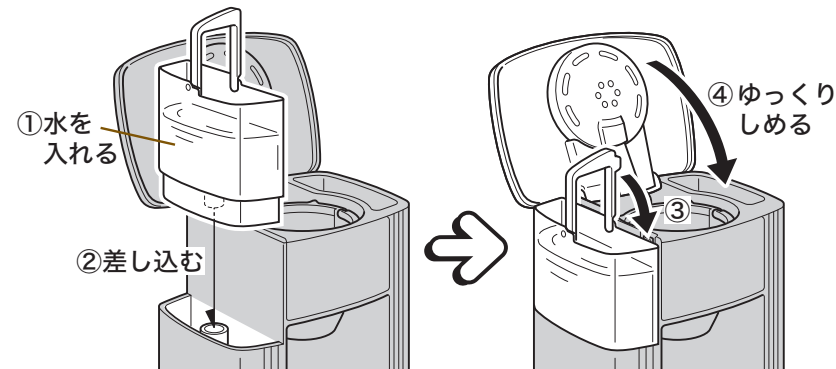
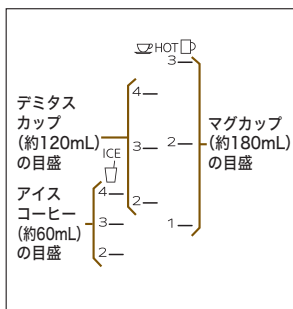
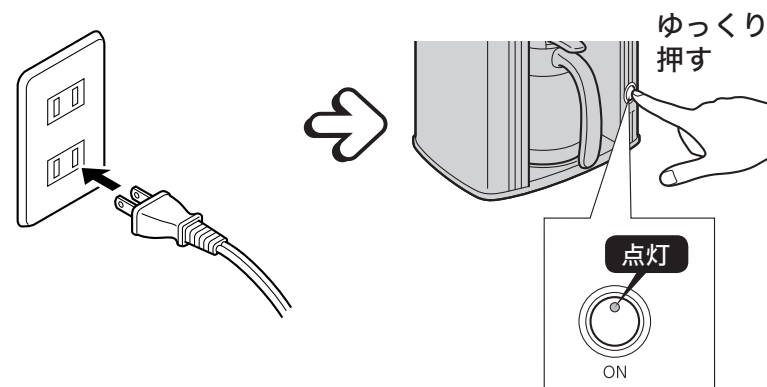
カップ数	コーヒー粉（計量スプーンすり切り）
	1カップ 約60mL
2カップ	2杯
3カップ	3杯
4カップ	4杯

ご注意

◆本体ふたは必ずしめる。
しめないと電源が入らない原因。
◆サーバーふたは必ずしめる。
しめないとコーヒーがこぼれる原因。

ホットコーヒーをいれる アイスコーヒーをつくる ―ドリップ

水タンクに水を入れ、本体ふたをしめる。

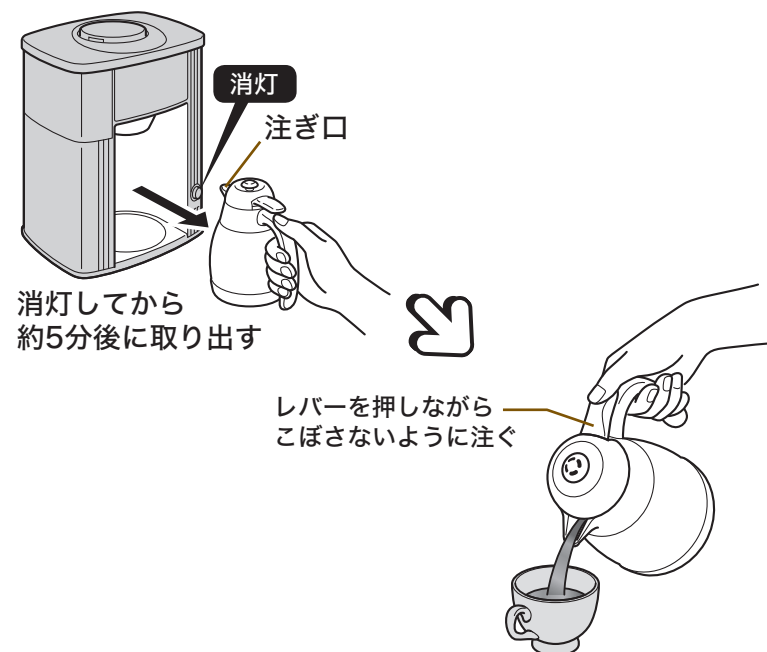
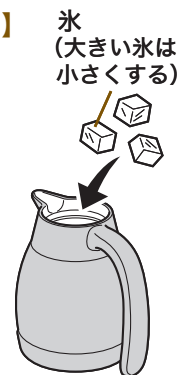
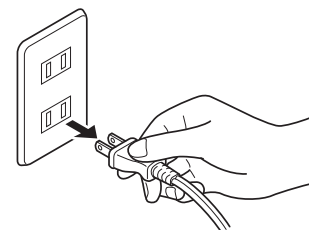
つくるコーヒーのカップ数に応じた目盛まで水を入れます。

（□の目盛「3」を超えて、水を入れない。コーヒーサーバーからコーヒーがあふれるおそれ。）

差込プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「ON」にして点灯を確認する。

水タンクの水がなくなってパイロットランプが消灯し、約5分たったらコーヒーを注ぐ。

お湯や蒸気が完全に止まってから取り出し、サーバーふたのレバーを押しながらカップなどに注ぎます。

【アイスコーヒーをつくるとき】

①サーバーふたをはずし、コーヒーサーバーに氷を入れて、かきまぜながら冷やす。
（氷は抽出後に入れる。）

②サーバーふたをつけて、レバーを押しながら注ぐ。

差込プラグをコンセントから抜く。

水タンクには水を入れる

お湯や熱湯を入れてドリップすると、故障の原因になります。

熱めのコーヒーをお好みの方は

あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに注ぎます。

コーヒーの温度について

コーヒーサーバーが保温しますが、時間経過とともに冷めていきます。

ドリップ後のコーヒー粉は取り出す

冷めてから、本体ふたをあけて、フィルターを取り出し、ペーパーフィルターごと取り出します。

続けてつくるとき

①本体が冷めるまで（約10分）待ちます。

②必ず先にコーヒーサーバーをセットしてから、P.12からの手順で、再度、ドリップします。

できあがり時間の目安

約3～8分でできあがります。

※できあがり時間は、室温・水量・コーヒー粉の量などにより変わります。

※できあがり温度の目安：約76℃

ご注意

◆抽出中にコンセントは抜かない。
間違って抜いた場合は、再度スイッチを「ON」にしないとドリップされません。

◆サーバーふたをしめた状態でも、コーヒーがこぼれるため、コーヒーサーバーを傾けない。

◆コーヒーサーバーを傾けた状態でレバーを離さない。サーバーふたの内部に少量の「コーヒー」が残り、持ち運ぶときなどにコーヒーがもれるおそれ。

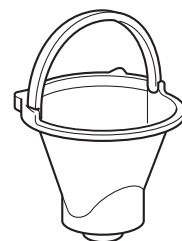
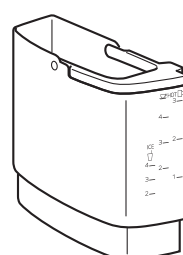
お手入れする

こまめにお手入れして、清潔・長持ち！

◆差込プラグを抜き、冷えてからお手入れします。
◆洗剤でお手入れするときは、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使います。
◆スポンジ・歯ブラシ・布はやわらかいものを使います。

お湯の出具合が悪くなったとき（クエン酸を使って、ミネラル成分を取り除く）

①コーヒーサーバーを本体にセットする。→P.12 ～ 13
②フィルターを本体にセットする。（ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。）→P.11
③水タンクにクエン酸約10g（大さじ1杯）を入れ、カップの目盛「4」まで水を入れてまぜる。
④ドリップする。→P.14
⑤クエン酸水が水タンクのカップの目盛「2」まで減ったら、コンセントを抜く。
⑥約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水をすてて、すすぐ。
⑦コーヒーサーバーのお湯をすてる。
⑧クエン酸水のにおいをとるために、水タンクのカップの目盛「4」まで水を入れ、1 ～ 4回ドリップする。（ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。ドリップ後のお湯はすてる。）→P.12 ～ 15

使うたびに洗う部品

フィルター　水タンク　サーバーふた

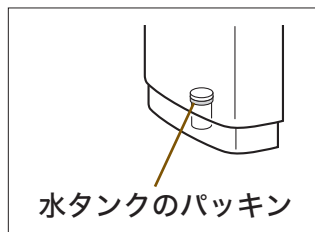
※汚れてきたら、右記P.17のようにはずして洗う。

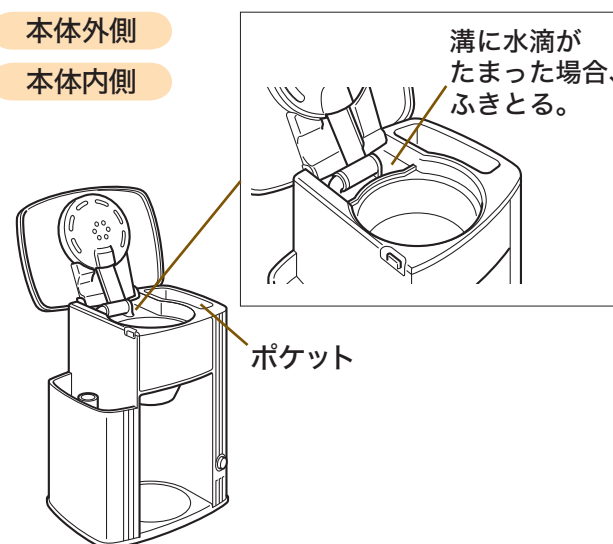
1 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぐ。
2 サーバーふたを振って、穴から水を抜く。
3 乾いた布で水分をふき取り、充分に乾燥させる。

コーヒーサーバー

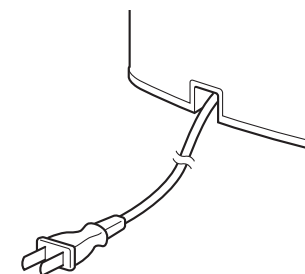
1 内側は、洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水で充分にすすぐ。汚れが目立ってきたら、クエン酸（約10g）をぬるま湯でうすめてコーヒーサーバーに入れ、2 ～ 3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。
2 外側は、洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。
3 乾いた布で、水分・洗剤分をふき取り、充分に乾燥させる。

ご注意

◆シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
◆食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。
◆コーヒーサーバーのつけおき洗いをしない。
◆水タンクのパッキンは、はずさない。水もれの原因。→P.19

汚れるたびにお手入れする箇所

本体外側
本体内側

1 本体内側・ポケットは、お湯に布をひたし、かたくしぼってふく。（洗剤は、使わない。）
2 本体外側は、洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。
3 乾いた布で、水分・洗剤分をふき取り、充分に乾燥させる。

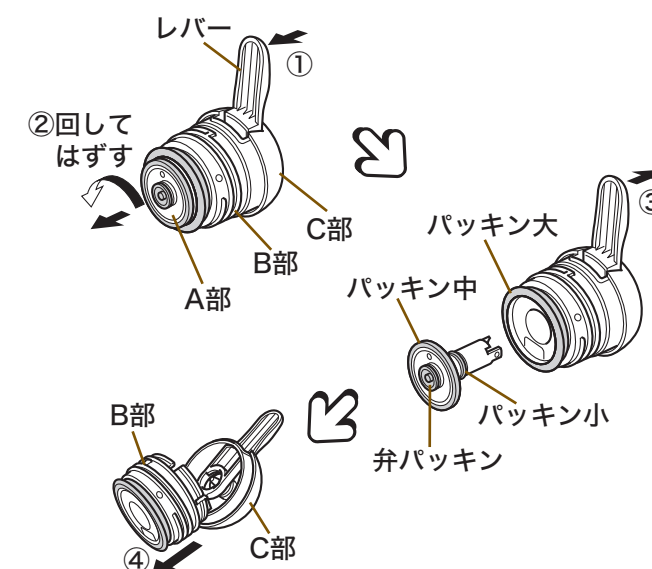
電源コード
差込プラグ

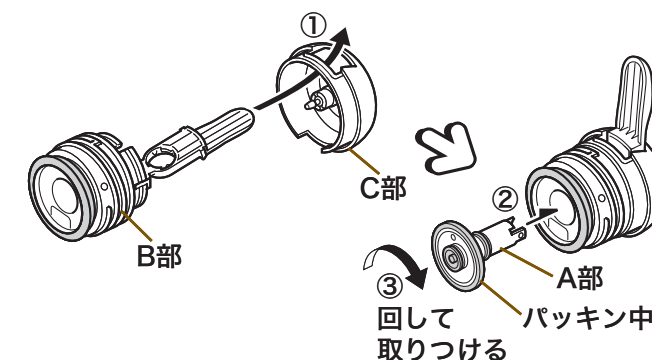
乾いた布でふく。

ご注意

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

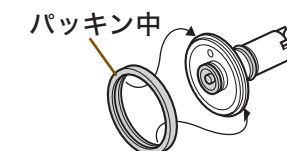
サーバーふたのはずしかた・つけかた

はずしかた

※必ず A 部をはずしてから B・C 部をはずす。

つけかた

〈A部を取り付けるとき〉
「カチッ」と音がするまで回して取り付ける。
※パッキン中のねじれやはずれに注意する。

ご注意

◆パッキン中がはずれたときは、注意して奥まできっちりはめ込む。

パッキン中

◆パッキン大がはずれたときは、向きに注意して奥まできっちりはめ込む。

◆弁パッキンとパッキン小は、はずさない。故障の原因。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
スイッチを「ON」にしてもランプがつかない。	差込プラグをコンセントに、差し込んでいますか。	差込プラグをコンセントに、差し込んでください。	14・15
	本体ふたを正しくしめていますか。	本体ふたをしめてください。	14・15
	スイッチを確実に押して「ON」にしていますか。	スイッチをゆっくり確実に押してください。	14・15
お湯が出ない。	水タンクに水が入っていますか。	水タンクに水を入れてください。	14・15
	水タンクが確実にセットされていますか。	水タンクを確実にセットしてください。	11・14・15
お湯の出具合が悪い。（時間がいつもより長くかかる）	−	ミネラル成分を取り除いてください。	16
コーヒーサーバーからあふれる。	サーバーふたが目詰まりしていませんか。	サーバーふたをお手入れしてください。	16・17
	水タンクに水を入れすぎていませんか。	水タンクの□の目盛「3」を超えて、水を入れない。	14・15
	フィルターをセットしていますか。	フィルターを確実にセットしてください。	11

こんなとき	ご確認いただくこと	参照ページ
コーヒーがぬるい。（保温が効いていない）	コーヒーサーバーが保温しますが、時間経過とともに冷めていきます。抽出したコーヒーの量が少ない（1～2カップ）と、早く冷めます。	15
	寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温効果が得られない場合があります。	
樹脂部品にキズ（欠け）のように見える箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、ご使用上の品質に支障はありません。	
樹脂などのにおいがする。	使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	

（表の見出し：こんなとき／ご確認いただくこと／直しかた／参照ページ）

消耗部品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口でお買い求めください。

◆樹脂部品（傷んできたとき）

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。上記でお買い求めください。

◆サーバーふたのパッキン大

◆サーバーふたのパッキン中

◆水タンクのパッキン（紛失したり、傷んできたとき）

上記でお買い求めください。

仕様

電源	消費電力(W)	満水容量*(L)	抽出方式	外形寸法*(cm)			質量*(kg)	コードの長さ*(m)
				幅	奥行	高さ		
100V 50-60Hz	550	0.59	ドリップ式	24.5	22.8	31.1	2.5	1.25

＊印は、おおよその数値です。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな？と思ったら」→P. 18をご覧になり、お調べください。
それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。（消耗部品は除きます。）

保証書の記載内容に基づき、お買い上げの販売店が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき

保証期間内 ・・・ おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき ・・・ まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名　②品番　③製品の状況（できるだけくわしく）

4 コーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 ・・・ 不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業（修理および部品交換・調整・修理後の点検など）の料金です。

部品代 ・・・ 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（→裏表紙）までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。